

2026年4月創設の青山学院大学女子駅伝チームと  
「CW-X」がパートナーシップ契約を締結  
走り続ける女性アスリートを支える新たな連携が始動！



株式会社ワコール（本社：京都府京都市、代表取締役社長執行役員：川西啓介）が展開するコンディショニングウェアブランド「CW-X（シーダブリュー・エックス）」は、2026年4月に創設する青山学院大学女子駅伝チームとパートナーシップ契約を締結しました。箱根駅伝で優勝を重ねてきた青山学院大学陸上競技部に新たに誕生する女子駅伝チームとの協業は、「CW-X」にとって初となる取り組みであり、女性アスリートの可能性拡大と活躍支援を目的としています。

スポーツは、本来すべての人に挑戦の機会があるべき舞台です。しかし現実には、競技を続けるための環境が十分にととのっていない状況があります。とくに女性アスリートは、進学・就職・結婚・出産といったライフイベントとの両立や、女性特有の身体課題、練習環境の整備など、競技継続のうえで多くの壁に直面します。「CW-X」は、こうした課題に向き合い、年齢や性別に関係なく誰もが自分らしく競技を続けられる環境をつくりたいと考えています。

この想いと重なり合ったのが、青山学院大学陸上競技部で男子長距離ブロックを率いる原晋監督の理念でした。原監督は、女子の陸上競技人口が減少している現状に危機感を抱き、「男女が共存し互いに支え合いながら高め合う環境をつくりたい」「競技をしていない一般女性にも元気や勇気を届けられる存在でありたい」という理念のもと女子駅伝チームを創設。メンバーに、全国大会で実績を重ねてきた芦田和佳選手（立命館宇治高校出身）、池野絵莉選手（須磨学園高校出身）の2名を迎え、新たな挑戦をスタートします。

本パートナーシップでは、スポーツブラ、ショーツ、タイツなどを提供し、選手の競技力向上とコンディショニングの維持向上をサポート。実使用によるフィードバックを商品開発や情報発信に活かしていきます。

### 【パートナー契約の概要】

- 「CW-X」は、2026年4月に創設する青山学院大学女子駅伝チームとパートナーシップ契約を締結。女子駅伝チームとの契約は初の取り組みです。
- 「CW-X」のインナーウェアなどの商品提供を通じて、男子駅伝の名門が新たに挑む女子チームの活動をサポート。選手の着用によるフィードバックを商品開発や情報発信に活用します。

### 【青山学院大学女子駅伝チーム 原監督コメント】



#### ■なぜ、女子駅伝チームを創設しようと思ったのですか。

女子の陸上競技人口が激減している現状があります。競技人口が減れば、指導者の活躍の場も減り、競技が盛り上がりなればスポンサーも離れてしまう。そうした現実を何とか変えたいと思いました。女子駅伝チームでは、女子だけに向けた特別な指導をするのではなく、男子選手と一緒にチャレンジし、食らいついていく。男女が共存し、互いに支え合いながら成長できる環境にしたいと考えています。その姿を、競技をしていない一般の女性が見たときに、少しでも元気や勇気を感じてもらえたらうれしいですね。キーワードは「美しさ・爽やかさ・力強さ」です。

#### ■女子駅伝チームとして、これから挑戦したいことや目標を教えてください。

創設初年度となる今年は、入部する選手が2名なので駅伝を組むことはできません。来年4名をスカウトする予定で、創設2年目には全日本大学女子駅伝への初出場、そして初優勝をめざしたい。3年目には7名が必要となる富士山女子駅伝も視野に入れ、全国大学対校男女混合駅伝の可能性も考えています。

もちろん、「個」の力を大切にすることも重要です。将来的には女子マラソンで活躍できる選手を育てたいですね。

#### ■「CW-X」との協業について、どのように期待されていますか。

ワコールは、女性の生活を豊かにし、女性が輝くためのサポートをしてきた企業というイメージがあります。その背景には、女性特有のカラダの変化や悩みについての研究が積み重ねられているのだと思います。そうした知識を得られるのは指導者としても大きな意義がありますし、結果的に長く競技を続けられることにつながると考えています。

「CW-X」から提供いただくアイテムを着用することで、選手が自分のコンディションに自信を持ち、練習に集中できる環境が生まれることを期待しています。

## 【選手のプロフィールとコメント】

### 芦田和佳（あしだ・のどか）



立命館宇治高等学校（京都）出身

高校1年時から全国高校駅伝のメンバーとして活躍し、全国大会では3区で区間賞を獲得。

2025年全国高等学校総合体育大会3000mで高校歴代7位、日本人最高位となる3位入賞。秋の国民スポーツ大会では少年A3000mで優勝した。全国高校駅伝2025は、1区を任せられ区間2位と好走。皇后盃全国女子駅伝2026では4区で区間賞を獲得し、有望な若手選手に贈られる「未来くん賞」を受賞した。

#### ●コメント

青山学院大学女子駅伝チームの一員として、1年目は個人種目で勝ち切るレースを目標に取り組みながら、創設期のチームをつくり上げていくという意識を持って挑戦していきたいです。

「CW-X」は、着用すると全体的にカラダが軽く感じられます。脚も上げやすく、いつもよりスムーズに動ける感覚がありました。

### 池野絵莉（いけの・かいり）



須磨学園高等学校（兵庫）出身

中学校時代から全国大会で活躍し、高校では1年生ながら全国高校駅伝の1区を任せられるなど、早くからチームの主力に。皇后盃全国女子駅伝2024では、5区で区間新記録を樹立した。

同年の全国高等学校総合体育大会は1500mで7位、3000mで8位と2種目で入賞。翌年、同大会の3000mで4位、1500mで6位に。全国高校駅伝2025でも1区で4位と好走し、皇后盃全国女子駅伝2026では5区で区間2位となり、チームの準優勝に大きく貢献した。

#### ●コメント

青山学院大学女子駅伝チームでは、トラック種目をはじめとする個人レースや県代表として出場する大会でしっかり結果を残していきたいと考えています。また、青山学院大学陸上競技部の唯一無二のトレーニングで、競技力を高めるカラダづくりにも取り組んでいきたいです。

「CW-X」を着用すると、最初はしっかりした着圧感を感じましたが、次第にサポートされている安心感が生まれました。



芦田選手 インナー 品番：JAY009 カラー：BL Tシャツ 品番：DLR235 カラー：BS タイツ 品番：HZY399 カラー：SX  
池野選手 インナー 品番：JAY009 カラー：BL Tシャツ 品番：DLR235 カラー：BS タイツ 品番：HPY375 カラー：BS  
カーフ 品番：BCR190 カラー：SX

### 【「CW-X」について】

「CW-X」は、ワコール人間科学研究開発センターが、テーピングの原理をタイツに組み込むという発想をもとに開発したコンディショニングウェアブランドです。

かつて研究員の家族が運動で脚を負傷した際、テーピングの応急処置で運動を続けることができた経験から「誰でも手軽にはける、テーピングの原理を組み込んだタイツを作りたい」と研究を開始。女性用ガードルに使用するハイパワー素材としなやかなフィット感を実現するワコールならではの設計技術を応用し、当時としては画期的なスポーツタイツを1991年に初めて発売しました。

独自のテーピング原理に基づいて開発した“スポーツタイツ”の他、上半身のコンディションを考え開発された“機能性トップス”、スポーツ時のバストを安定させる“スポーツブラ”など、幅広いシーンにおいてカラダをサポートする商品を展開し、アクティブなライフスタイルを楽しむ方を応援しています。

「CW-X」公式サイト：<https://www.cw-x.jp/>

「CW-X」公式 Instagram：<https://www.instagram.com/cwx.jp/>

「CW-X」公式 X：[https://twitter.com/cwx\\_jp](https://twitter.com/cwx_jp)

< 報道関係者向けのお問い合わせ先 >

取材：[press-ml@wacoal.co.jp](mailto:press-ml@wacoal.co.jp)

< 一般のお客様からのお問い合わせ先 >

ワコールお客様センター：<https://www.wacoal.jp/support/>